小田（フリー）初優勝

ぎふしんウィメンズラン

序盤から首位譲らず

高校生以上5部 41歳、学生らに大差

ぎふしんウィメンズラン（岐阜新聞社、岐阜放送主催、岐阜信用金庫特別協賛）は17日、岐阜市役所前を発着点に中心市街地を走るコース（1部1・3㌔、2・4部2・8㌔、5部5・4㌔）で行われ、最長の5部（高校生以上）は小田恵梨（フリー）が19分15秒で初優勝した。

3部門は、2部（中学、高校、大学、各種学校生）で横井咲絢（桑原学園）が9分55秒で優勝。3部（39歳以下）は則武桃佳（農飛倉庫運輸）が10分28秒で制し、4部（40歳以上）は武士純子（西堀ーず）が4連覇を果たした。

1部（小学4～6年）は浜口優乃花（八木山小）が4分29秒で頂点に立った。

（敬称略）

▽1部 1・3㌔ ①浜口優乃花（八木山小）4分29秒②上井彩（ラクシス）③志田蓮里（愛知・長岡ク）④長野咲希（ラクシス）⑤木村百花（美山小）

▽2部 2・8㌔ ①横井咲絢（桑原学園）9分55秒②加藤紗彩（brushup）③山田真紗絢（岐南中）④田中美咲（積翠中）⑤前原さら（他田中）

▽3部（2・8㌔）①則武桃佳（農飛倉庫運輸）10分28秒②伊藤優衣（アトリエAC）③番雪枝（ハイチム）⑤伊佐優花（主婦）

▽4部（2・8㌔）①武士純子（西堀ーず）10分11秒②大畠理恵（チームストラバ）③北村裕子（ラクシス）④後鳥理恵子（チームGP）⑤安田博美（フリー）

▽5部（5・4㌔）①小田恵梨（フリー）19分15秒②吉川日奈子（関南工高）③服部七海（東農実高）④大橋麻美（フリー）⑤佐々木奏（名古屋市大）

TOP!

高校生以上が争う最長の5部は、41歳小田恵梨が2位に31秒の大差をつけて制した。「若い選手が多い部門。優勝できるとは思っていなかった」と満面の笑みでゴールテープを切り、爽やかに汗を拭った。

序盤で首位に立つと、一度もその座を譲らなかった。「不慣れな短い距離にも、スピードを出す練習を兼ねて、追い込んで走ることができた」と納得のレース。2位以下の高校生や大学生を突き放した。

静岡県出身。陸上を始めた高校時代は800㍍や3000㍍を主戦場とした。現在は愛知県を拠点に、趣味で全国各地のハーフマラソンなどを転戦する。

「旅行を兼ねて、地元のおいしい料理や景色を楽しみながら走るのが好き」と魅力を語る。

「体力が続く限りは走ること を楽しみたい」と小田。1週間前はいびがわマラソンで優勝するなど、本格化する今季の仕上がりも順調だ。「仮装が楽しそうだった。来年は仮装しながら2連覇したい」と笑顔で語った。（浜田悠）

5部のトップでゴールする小田恵梨＝岐阜市役所前（撮影・堀尚人）

各部門優勝者 喜びの声

自信あった

1部優勝・浜口優乃花　最初は緊張したけど、毎朝家の前の坂道を走って練習してきたので、自信はあった。その成果を生かして走ることができてよかった。最初は少し飛ばし過ぎたかなと思ったけど、最後の方になっても体力は大丈夫だった。来年も出場して、また優勝したい。

応援に感謝

2部優勝・横井咲絢　タイムには納得がいかないけど、1位だったのはうれしい。沿道からいろんな方が応援してくれた。いつもは田んぼの中を走っているので、きょうは街中を走れて楽しかった。ここから調子を上げていければ、来年も出るとしたら、もっと速いタイムで走りたい。

全てうまく

3部優勝・則武桃佳　リラックスできて、全てがうまくいった。競歩が専門で走ることは完全に趣味だけど、先頭集団の中から最終盤にラストスパートを求められた。10月の競歩の日本選手権は、コンディションが良くて欠場してしまった。完全復活に向けて弾みがつく優勝になった。

4連覇達成

4部優勝・武士純子　4連覇できてホッとした。短い距離なので、始めから自分のペースで走った。去年までは4部は後発でみんなを追い抜く展開だったけど、きょうは先導する白バイのすぐ後ろに自分がいて、本当の一番前で走れて爽快だった。来年もぜひ参加したい。

選手宣誓を務めた岐阜西中の（左から）石川琳琉、大坪美緒、小谷野晃波、広瀬心椛

「楽しんで走り切る」

岐阜西中陸上部4人が宣誓

選手宣誓を務めたのは、岐阜西中陸上部2年の石川琳琉、大坪美緒、小谷野晃波、広瀬心椛の4人。

「日頃の感謝や仲間と走れる喜びをかみしめ、岐阜の町並みを楽しみながら走り切ります」と力強く宣誓し、県都へ駆け出す女性ランナーに元気を与えた。

好岡理事長が号砲 岐阜信金

「パワー感じる」

4部のスターターを務めた特別協賛の岐阜信用金庫の好岡政宏理事長は「女性のパワーを感じる。秋空の下で、岐阜の中心市街地のコースを楽しんでほしい」と駆け出すランナーへの思いを込めて号砲を鳴らした。岐阜市の柴橋正直市長、同信金の光崎修専務理事もスターターを務めた。

スターターを務めた好岡政宏理事長

バトンと吹奏楽 大会盛り上げる

ハニーズと岐阜ジュニア吹奏楽団

地元のバトンチーム「ハニーズ」が、岐阜ジュニア吹奏楽団とともに大会を盛り上げた。閉会式前には、12月の全国大会で演じるパフォーマンスなどを披露。沿道でもエールを送った。キャプテンの鴬谷中3年山田歩乃実さんは「ランナーを応援できた」と華麗な演技を振り返った。

華麗なバトンさばきを見せた「ハニーズ」

コース沿道を清掃する走路員

感謝込めコース清掃 岐阜信金職員ら

コースの安全確保などを担う「走路員」を務めた岐阜信用金庫の職員ら約200人が、競技の前後に一帯で清掃活動を行った。地域への感謝と恩返しの気持ちを込め、大会本部からそれぞれの持ち場への移動時に、ごみや落ち葉を拾い集めた。

白バイ先導 安全守る

ランナーを先導した藤井香菜巡査部長（右）と伊藤舞美巡査長

県警交通機動隊の藤井香菜巡査部長（28）と伊藤舞美巡査長（27）が、白バイでランナーを先導した。

1部を担当した藤井巡査部長は「元気よく、安全に先導できれば」、4部を担当した伊藤巡査長は「安心にマラソンが遂行できるように頑張る」と話し、滞りないレース進行に貢献した。

草潤中教職員 2年連続 仮装大賞

「マツケン」「バカ殿」

仮装大賞のマツケンサンバとバカ殿のチーム

仮装大賞は「マツケンサンバ」や「バカ殿」の姿で完走した、草潤中の教職員ら7人。昨年はラグビーのリーチ・マイケルの格好で同賞を受賞し、2連覇となった。

鷲見佐知校長は「夏からアイデアを練っていた。去年の仮装が他の参加者の刺激になったと聞き、うれしい」と喜んでいた。

「ゼッケン抽選会」

当選者に景品贈呈

閉会式後は協賛企業が提供する景品の抽選会があり、ゼッケン番号による全当選者がスポーツ用品などを受け取った。アディダスのポーチが当たった細田むつみさん（55）は「お出かけするときに使えれば。街中を走れた上に、景品ももらえるなんてうれしい」と声を弾ませた。

■お礼■

「ぎふしんウィメンズラン」に特別協賛をいただきました岐阜信用金庫をはじめ、協賛の中部しんきんカード、同栄産業、ぎふしん信用保証、しんきん総合リース、ヒマラヤ、岐阜グランドホテル、マーサ21、岐阜市防犯協会の各社、開催に当たり格別なるご協力をいただきました県警本部、岐阜中署、岐阜市消防本部、岐阜乗合自動車、アスリートNAGARA、県庁テストクラブ、岐阜ジュニア吹奏楽団、バトンチーム・ハニーズに厚くお礼申し上げます。

また、交通規制などでご迷惑をおかけしました市民の皆さまのご理解、ご協力に厚く感謝申し上げます。

主催　岐阜新聞社、岐阜放送
運営協力　岐阜陸上競技協会

無断複製・転載を禁じます